



MEITETSU
TRANSPORTATION

Business Report



第 86 期 報 告 書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

証券コード：9077

名鉄運輸株式会社

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第86期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧ください。

当社グループは、日本全国をカバーするネットワークを通じ、明るく元気な社員が、最高品質（＝こぐま品質）の輸送サービスを提供し続けることにより、お客様に信頼され、なくてはならぬ存在を目指してまいります。

株主のみなさまには、何とぞ倍旧のご支援ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役社長 内田 亙



営業の概況（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の改善を背景に、設備投資は高水準を維持し、個人消費も緩やかながら持ち直しました。一方、相次ぐ自然災害の発生と、原材料費や人件費の上昇、海外経済の減速に伴う輸出の低迷から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物の荷動きが堅調なものの、人手不足の深刻化により、ドライバー確保のための人件費の増加や、委託費の高騰、燃料価格の高値推移など、コスト負担の重くのしかかる厳しい経営環境となりました。

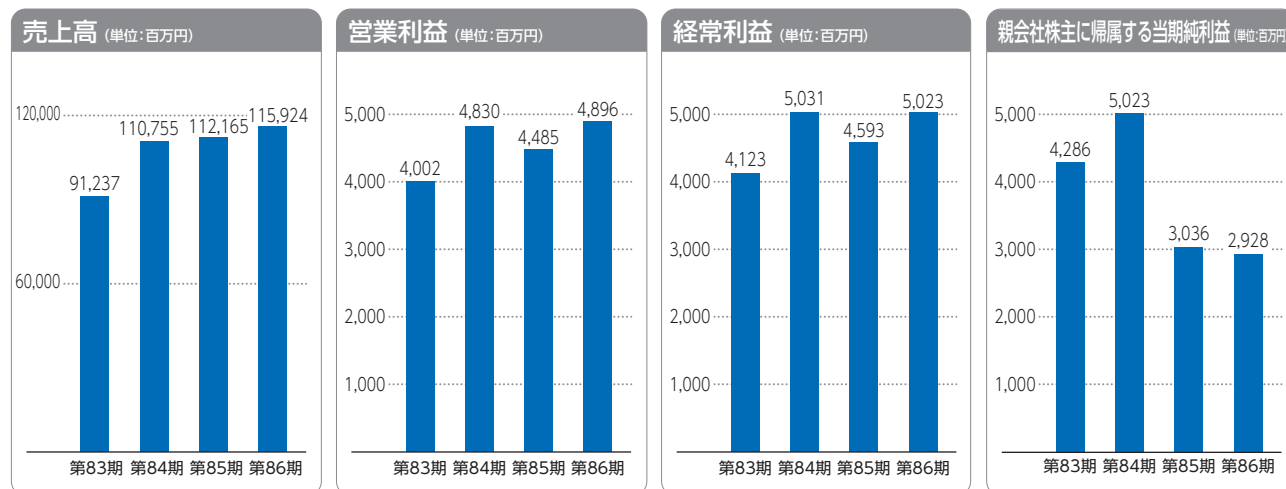
このような状況のなか、当社グループは、現中期経営計画の基本方針「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする」を中心とした各施策を推進し、積極的な営業活動と効率経営に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比3.4%増の115,924百万円となりました。また、営業利益は運送委託料、人件費、燃料費が増加したものの、売上高の増加により、前期比9.2%増の4,896百万円、経常利益は前期比9.4%増の5,023百万円、親会社株主に帰属する当期純利益については、連結子会社の固定資産売却損益の影響で、前期比3.6%減の2,928百万円となりました。

第86期のポイント

Point

前期並みの取扱量を確保するとともに、運賃改定交渉に引き続き取り組み、売上高は増加しましたが、連結子会社の固定資産売却損益の影響で、増収減益となりました。



次期の見通し

今後の見通しにつきまして、国内経済は、設備投資や個人消費が堅調なもの、海外経済の減速から国内経済への影響が予想され、不透明な状況が続くものと思われま。

物流業界におきましては、国内貨物輸送量は堅調さを維持する一方、年々深刻化するドライバー不足、人件費や委託費の上昇、燃料価格の高値推移、働き方改革への対応と、今後とも厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような状況のなか、当社グループは引き続き、現中期経営計画の各施策に推進してまいります。

以上を踏まえ、第87期通期の連結業績予想につきましては、売上高は1,170億円（前期比0.9%増）、営業利益は49億円（前期比0.1%増）、経常利益は50億円（前期比0.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は30億円（前期比2.4%増）を見込んでおります。

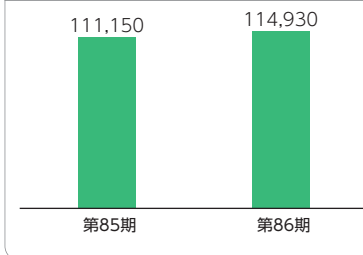
物流関連事業

売上高 **1,149億30百万円** (前期比 3.4%増)

〈貨物運送関連〉

混載事業を中心に、顧客需要を取り込み、前期並みの取扱量を確保いたしました。具体的な施策として、営業面では、各地域の営業専属担当者と東京営業部との連携により、グループの輸送ネットワークを活用した提案による新規荷主獲得を進めたほか、既存荷主に対しては、輸送コストに応じた運賃改定交渉を引き続き行いました。また、運送約款改正に合わせ、運送と付帯作業の区分を明確にし、作業環境の改善を目指し交渉を行いました。業務面では、日本通運株式会社との連携において、ターミナル施設の共同利用や共同配送・共同幹線輸送をグループ会社も含め全国で進めるなど、経営資源の有効活用を図りました。また、外部に委託していた輸送をグループ内に取り込む活動や、定時輸送による労働時間短縮への取り組みも継続して行いました。

売上高 (単位:百万円)



〈流通倉庫関連〉

夏場の猛暑による飲料メーカーの増産に伴う保管及び輸送需要を取り込んだほか、日用品メーカーの取扱増加など主要顧客の売上が堅調に推移し前期を上回りました。

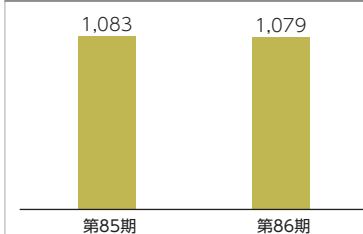
以上の結果、物流関連事業における売上高は、運賃単価の上昇により前期比3.4%増の114,930百万円となりました。

その他事業

売上高 **10億79百万円** (前期比 0.3%減)

各事業の営業強化に注力いたしましたが、不動産賃貸収入の減少などにより、売上高は前期比0.3%減の1,079百万円となりました。

売上高 (単位:百万円)



第86期連結決算の概要

連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,422	流動負債	33,712
現金及び預金	413	支払手形及び営業未払金	7,614
受取手形及び営業未収金	16,453	電子記録債務	4,205
電子記録債権	1,289	短期借入金	7,905
商品及び製品	2	1年内返済予定長期借入金	3,784
仕掛品	45	リース債務	120
貯蔵品	210	未払費用	3,422
その他	1,014	未払法人税等	991
貸倒引当金	△7	賞与引当金	521
固定資産	74,676	その他	5,146
有形固定資産	65,478	固定負債	25,276
建物及び構築物	11,628	長期借入金	13,031
機械装置及び運搬具	16,706	リース債務	152
土地	36,105	預り保証金	351
リース資産	285	繰延税金負債	251
建設仮勘定	147	役員退職慰労引当金	224
その他	605	退職給付に係る負債	8,529
無形固定資産	1,462	資産除去債務	700
ソフトウェア	1,089	再評価に係る繰延税金負債	2,035
その他	373	負債合計	58,989
投資その他の資産	7,735	(純資産の部)	
投資有価証券	2,035	株主資本	30,697
長期貸付金	73	資本金	2,065
繰延税金資産	3,135	資本剰余金	6,034
その他	2,566	利益剰余金	22,625
貸倒引当金	△75	自己株式	△29
		その他の包括利益累計額	3,299
		その他有価証券評価差額金	544
		繰延ヘッジ損益	2
		土地再評価差額金	3,231
		退職給付に係る調整累計額	△478
		非支配株主持分	1,111
		純資産合計	35,108
資産合計	94,098	負債・純資産合計	94,098

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	115,924
売上原価	105,605
売上総利益	10,318
販売費及び一般管理費	5,422
営業利益	4,896
営業外収益	272
受取利息及び配当金	68
その他	203
営業外費用	145
支払利息	83
その他	62
経常利益	5,023
特別利益	3,105
固定資産売却益	3,071
その他	33
特別損失	3,403
固定資産処分損	3,367
その他	35
税金等調整前当期純利益	4,724
法人税、住民税及び事業税	1,703
法人税等調整額	19
当期純利益	3,001
非支配株主に帰属する当期純利益	73
親会社株主に帰属する当期純利益	2,928

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,706
現金及び現金同等物の増減額	106
現金及び現金同等物の期首残高	262
現金及び現金同等物の期末残高	369

名鉄運輸グループ ネットワーク・地域拠点の強化

当社グループは、「We're Koguma ~for the Best Quality~」のキャッチフレーズのもと、「安心と信頼のこぐま品質」を提供するネットワーク・地域拠点の強化に尽力してまいります。

- ・ 2018年 3月 北海道東北名鉄運輸(株)二戸営業所
リニューアルオープン
- ・ 2018年 5月 九州名鉄運輸(株)鳥栖支店オープン
- ・ 2019年10月 名鉄運輸(株)奈良支店オープン予定
- ・ 2019年10月 中国名鉄運輸(株)松江営業所
リニューアルオープン予定



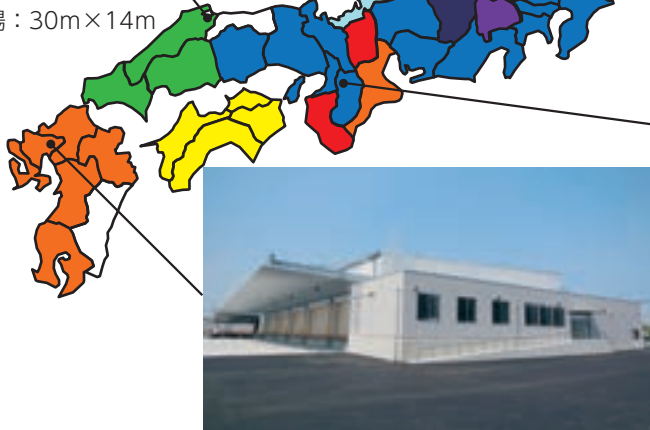
松江営業所

- ・ 住所：島根県松江市
- ・ 構造・規模：鉄骨造 平屋建て
- ・ 敷地面積：2,346㎡ (約710坪)
- ・ 荷捌き場：30m×14m



二戸営業所

- ・ 住所：岩手県二戸市



鳥栖支店

- ・ 住所：佐賀県鳥栖市



奈良支店

- ・ 住所：奈良県生駒郡安堵町
- ・ 構造・規模：鉄骨造 2階建て
- ・ 敷地面積：4,959㎡ (約1,500坪)
- ・ 荷捌き場：40m×20m

小型電気トラック (EVトラック) を導入

2019年3月、東京都江東区の新砂支店に小型電気トラック5台を導入いたしました。これは当社グループ全体で環境負荷の軽減に取り組む活動の一環として導入したもので、CO₂やNO_x（窒素酸化物）・PM（粒子状物質）といった大気汚染物質の排出がないほか、騒音や振動が少ないため、周辺へ与える影響も改善できるものです。同トラックは東京都の墨田区・江東区の集配用車両として使用いたします。当社グループは今後も社会的課題へ取り組んでまいります。



東京の社員寮をリニューアル

中期経営計画にある魅力的な職場環境づくりの一環として、2019年3月、東京の社員寮をリニューアルいたしました。社員寮は都心へのアクセスが良い立地にあり、社員の福利厚生の充実とともに、今後、東京での当社グループの人材確保にも活用してまいります。



社員寮



エントランス



内装

会社の概要 (2019年3月31日現在)

設立	1943年6月1日
本社	名古屋市東区葵二丁目12番8号
資本金	2,065,994,499円
発行済株式総数	6,509,301株
株主数	1,187名
主な事業所	東北支社(仙台市)、北関東支社(足利市)、 東京支社(東京都江戸川区)、名古屋支社 (小牧市)、大阪支社(大阪市)
	(注)事業所数64箇所
従業員数	2,551名
	(注)従業員数には、パート、アルバイト等は含んでおりません。

役員一覧 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長	内田 亙
代表取締役専務	松田 康博
専務取締役	近藤 乗弘
常務取締役	亀崎 剛
常務取締役	長谷川 靖
取締役	田中 明彦
取締役	花房 伸介
取締役	吉村 史法
取締役	有馬 正純
取締役	辻 昌哉
取締役	榊原 勝則
取締役	白方 寿人
取締役	林 立夫
取締役	山本 亜土
取締役	安藤 隆司
社外取締役	植松 満
社外取締役	井上 尚司
常勤監査役	高木 義博
監査役	高井 郷寿
社外監査役	安井 秀樹
社外監査役	平林 一美

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会の基準日	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日です。
剰余金の配当の基準日	期末配当の基準日は毎年3月31日です。また中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 ※電子公告掲載ホームページアドレス http://www.meitetsuunyu.co.jp/corp/ir/notice/
単元株式数	100株
上場取引所	名古屋市場第2部
住所変更、単元未満株式の買取・買増等の申し出	・証券会社に口座のある株主様 口座のある証券会社にお申し出ください。 ・証券会社に口座のない株主様 三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

名鉄運輸株式会社

〒461-0004 名古屋市東区葵二丁目12番8号
TEL : 052-935-5721
URL : <http://www.meitetsuunyu.co.jp/>



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。